



八幡山の景観を良くする会 活動開始10周年記念冊子『節目の刻』

2015年3月 発行



この冊子は、平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて制作しました。

節目の刻^{とき}

八幡山の景観を良くする会

—活動開始10周年記念冊子—

八幡山の景観を良くする会(略称:八景会)

《ミッション》

- 1.美しい里山景観の再生と、その保全の仕組みを次世代に伝え残す
- 2.市民が親しみ、誇れる山を目指す
- 3.子供達が野外遊びを楽しめる明るく安全な里山を創る

2年目(H18年)

- 3月 第1回八幡小学校・近江兄弟社小学校卒業記念植樹(以後毎年開催)
- 4月 第1回親子タケノコ掘り大会(以後毎年開催)
- 9月 『里山について考える』講習会 深町氏(京都市立大)・奥氏(森林総研) 八幡山西ノ丸展望台にベンチと竹柵を新設(以後毎年12月に西ノ丸・北ノ丸の竹柵を更新)

1年目(H17年)

- 3月 八景会発足
- 4月 竹林整備 第1回作業(4人) もみじ・椿の蔦除去作業(6人)(以後、竹林と雑木林を交互に毎月活動を継続)
- 12月 八幡山縦走路開設(8人) 『宝の山プロジェクト』で椎茸栽培開始

3年目(H19年)

- 1月 第1回おやじ連作品展にパネル出展
- 5月 NHK「いよっ!日本一」で放送される
- 11月 大阪NPOセンターからの依頼により、~2月 府内6ヶ所で活動紹介

八景会の作業実績 (平成17年4月~平成27年3月)

作業内容	作業回数	延べ作業者数
竹林整備作業	116回	2,481名
コナラ林整備作業	82回	1,669名
縦走路整備作業	42回	293名
各種オプション作業	57回	962名
合計	297回	5,405名

4年目(H20年)

- 6月 ふるさと竹林調査隊in近江八幡をサポート(八幡山全周囲の竹林を調査)
- 7月 夏休み小学生環境パネル展

5年目(H21年)

- 3月 元気ウォーク近江八幡「水郷と里山を歩く」のサポートで八幡山縦走案内(参加者200人)
- 5月 全国竹林景観ネットワークin近江八幡をサポート

6年目(H22年)

- 6月 全国竹林景観ネットワークin近江八幡をサポート
- 8月 竹粉製造機PANDA 初実演(八幡酒蔵工房主催)
- 9月 八幡山縦走路看板(4ヶ所)とコース順路標識設置
- 11月 第1回親子八幡山縦走ハイキング(参加者24人)(以後毎年開催)

7年目(H23年)

- 1月 縦走路の毎月定例整備作業開始(その後3年半かけて北ノ丸~百々神社間の縦走路整備完了、以後も定例作業継続中)

10年目(H26年)

- 3月 北虎口展望台にミツバツツジ・コナラ植樹
- 7月 縦走路整備完了(作業回数38回)
- 9月 五葉館(ヴォーリス記念病院敷地内)周辺の雑木の伐採整備作業(ヴォーリス展サポート)

9年目(H25年)

- 3月 市民植樹会でコナラ幼木100本植樹
- 6月 東大阪日下リジョンセンター一行が視察
- 11月 日本ソロプチミストよりボランティア活動賞を受賞

8年目(H24年)

- 3月 クラフトキッズのサポートで鳥の巣箱設置
- 4月 出丸の台地に栗の木を植樹(竹活用シンポジウム(八幡酒蔵工房のサポート))
- 7月 長岡京市のタケノコ林見学
- 10月 近江八幡緑の少年団に八幡山縦走を案内
- 11月 竹粉活用シンポジウム(八幡酒蔵工房のサポート)
- 12月 竹林景観ネットワーク一行が八幡山竹林を視察

竹林整備

近江八幡市のシンボリック的存在であり、豊臣秀次公の居城でもあった八幡山の麓の竹林が放置されて荒廃し、美しい自然林や八幡山城の石垣までもが侵略されているのを見かねて「八幡山の景観を良くしたい」と思ったのが、「八景会」発足の原点。平成17年から毎月(11月頃～4月頃)、八幡山の竹林整備活動を継続しています。



▲八幡山の山麓一帯に広がる放置竹林



▲中に踏み入れられない程竹が密生し、林床に日光が届かず暗く不気味



▲枯死・病変した竹ばかりが目立つ



▲竹に侵略された雑木林では、勢いに負けた樹木が枯れていく

林床に折り重なる枯竹の伐採・運搬は、ことのほか重労働

▼作業開始! 八幡公園から竹林へ



▲複雑に絡み合う枯竹除去作業は危険も伴う



▲秀次公家臣団屋敷跡の石垣が映える美しい景観を取り戻す



◀直径約20cm、長さ約15mにもなる孟宗竹の「巨木」と奮闘

この肉体労働と、仲間との交流、そしてどんどん景観が良くなっていく達成感が、定年退職したおやじ達の健康維持の源にもなっている

チェーンソーも動員し、雑木林の木々を竹の侵食から救出する



▲竹の侵略から開放された雑木林

◀伐採した竹を美しく積むことも、「景観を良くしたい」がゆえのこだわり

▼林床が光にあふれ、美しい竹林に変身



親子タケノコ掘り大会 (H18年～毎年継続。例年4/29頃に開催)



人の手が入り、整備された八幡山の竹林から、とてもたくさんの特ダケノコが出てくるようになりました。そこで、親子参加のタケノコ掘りイベントを開催し、楽しい体験を通じて里山の魅力と放置竹林問題を次世代に伝えていきます。毎年約250人ものご家族が参加してください。タケノコ掘りのあとは、公園で昼食の炊き出しや竹細工のワークショップなども行い、市民同士の交流の場にもなっています。



▲竹でできた「竹力車」も登場!!



コナラ林整備

せっかく竹の侵略を食い止めた八幡山の雑木林で、今度はコナラ等の「ナラ枯れ」が急に目立ちはじめました。これもまた、山の景観や生態系にとってマイナスなので、立ち枯れた木の伐採と植樹、混みすぎた林の下刈りや間伐にも取り組むようになりました。竹林整備と平行して、平成18年から毎月(5月頃～10月頃)、作業を継続しています。



真夏の山肌にナラ枯れの紅葉が点々と見える



定期的の下刈りや間伐をして、雑木林の環境と景観を整える



▼台風や積雪などによる倒木も見つけ次第処理



▲整備した林には、コナラの幼木を植樹

間伐後の木材は、林の中で朽ちてクワガタムシなどのすみかに薪ストーブ用に持ち帰る市民も



▲ナラ枯れ被害に遭う前の晩秋のコナラ林。一面に立派なコナラ林が広がっていたが、平成19～22年頃にカンナガキクイムシの大発生により大木が次々と枯死。被害の拡大を食い止めるため、また倒木の危険を避けるため、市によって多くの被害木の伐倒処理がなされ、一面に裸地が広がった



▲コナラの根元に木くずを見つけたら、ナラ枯れの原因菌を媒介する「カンナガキクイムシ」が入った印



▲立ち枯れたコナラは伐倒(近江八幡市所轄部署)この頃、八幡山に限らず滋賀県全域でナラ枯れ被害が拡大



▲被害の拡散を防ぐため、切り倒した木をビニールで隙間なく覆う(同左)



卒業記念植樹 (H18年～毎年継続。例年3月に実施)



コナラ林の整備をした八幡山のふもとの公園で、卒業を迎える八幡小学校と近江兄弟社小学校の生徒たちに、毎年桜の記念植樹をしてもらっています。八幡公園が、地域の未来を担う子どもたちの思い出が詰まった木でいっぱいになるまで、続けていきたいと思っています。また、平成25年3月には「市民植樹会」を開催し、ナラ枯れの被害がひどかったエリアを中心に、市民の皆さんと一緒にコナラの幼木100本を植えました。(平成23年～25年で通算160本を植樹)



縦走路整備

きれいになった八幡山を下から眺めるだけではなく、実際に山に入って、四季折々の美しい自然の表情を多くの市民に五感で感じてもらいたい!との思いから、南北に峰が連なる八幡山を尾根伝いに縦走するハイキングコースを開設しました。道中には中世の北之庄城跡や、水郷の絶景を一望できる場所もあり、少しずつ市民に広まっています。平成23年から整備作業を定例化し、毎月継続しています。



随所に案内看板や標識を設置。見晴らしのよい所は視界がひらけるよう刈り込み、展望台として整備。踏み入れるのが困難だった中世の城(北之庄城)跡へも、誰もが気軽にに行けるようになった。



ブッシュを切り抜き、倒木や立ち枯れ松を一本ずつ処理し、歩きやすく整備して…気持ちのよいハイキングルートが貫通!



里山ハイキングガイド 八幡山縦走コース

百々神社の左手脇から望西峰、北之庄城跡、八幡城址、八幡山を経由して尾根伝いに日牟礼八幡宮横の山道または八幡公園に至る里山ハイキングコース。ロープウェイの利用も可能です。



コースホステル前 バス停	百々神社(ももじんじゃ)
25分 ↓ 35分 急な坂あり	水郷展望台
15分 ↓ 22分	望西峰 278m
15分 ↓ 10分 急な坂あり	鞍部(194m)
10分 ↑ 15分	北之庄城跡(セツ池)271.9m
15分 ↓ 12分	鞍部(202m)
12分 ↓ 15分 急な坂あり	八幡山(北の丸) 271.9m
12分 ↓ 12分	ロープウェイ山上駅
10分 ↓ 8分	分岐点
10分 ↓ 8分	日牟礼八幡宮横登山口
10分 ↓ 8分	八幡公園
大杉町 八幡山ロープウェイロ バス停	

八幡山の景観を良くする会・近江里山を歩こう会 / 助成: 財団法人 淡海環境保全財団

▲縦走コースの各登山口に設置された案内看板(コースタイム約3時間)



コース沿いにはショウジョウバカマやオオワカガミの群生地も見られ、特に春にはたくさんのお花も楽しめる

「重要文化的景観地区展覧台」からのパノラマ。全国屈指の水郷を眼下に一望できる。

バト 親子八幡山縦走ハイキング会 (H22年～毎年継続。例年11/23頃に開催)



より多くの市民のみなさんに八幡山縦走路を身近に楽しんでもらうため、毎年秋にハイキング会を企画・運営しています。下は3歳から上は80代まで、多くの方がマイペースで楽しく完走されています。3時間ほどで縦走でき、下山後には船で水郷を渡って休耕田「いまさか島地」で芋掘り会も楽しんでいます。また、H21年には、八幡山縦走路が主催の「げんきウォークin近江八幡」のコースに選ばれ、約200人が歩きました。



八景会と「近江八幡おやじ連」

近江八幡市では、定年退職者の社会参加と健康増進・自立を目的に、平成14年から毎年「男の料理教室」が継続開催されています(市が主催)。2年間同一メンバーでの料理教室を終えると、各年度の同窓生がそれぞれ自立して会を立ち上げ、互いの親交を深めています(右図の横軸)。

「近江八幡おやじ連」は、それらの団体がゆるやかに結束して平成18年に結成されました。以後、料理教室で何期目であったかに関わらず、山・川・湖等での環境ボランティア活動や、紙芝居づくり・ハイキング等の趣味の活動に誰もが自由に参加できる環境が整ってきました(右図の縦軸)。「八景会」も、この環境ボランティア系団体のひとつに位置づけられています。

また、毎年1月に市立図書館にて「おやじ連作品展」を開催することで、団体間の一層の融和が図れるようになりました。

主な構成団体の活動紹介

■「白鳥川の景観を良くする会」(毎月第1・第3水曜日)



平成18年2月に活動を始め、白鳥川堤防の除草や投棄ゴミ回収業を毎月2回実施しています。5kmにわたって土堤に桜を植樹し、桜ぼんぼりや5月の鯉のぼりを飾るなど、地域住民に親しまれる活動を続けています。

■「琵琶湖畔の景観を良くする会」(毎月第1月曜日)



平成18年11月に活動を始め、琵琶湖長命寺港地先から湖岸沿いに、雑木やツルの除去・除草・投棄ゴミ回収作業を毎月1回実施しています。道路から琵琶湖の見晴らし・景観が抜群に良くなり、夏には親子対象のデイキャンプもするなどして喜ばれています。

《環境ボランティア系団体》 《料理教室OBの同期会》 《趣味・親睦系団体》



「近江八幡おやじ連」構成団体の相関イメージ図

■「近江里山を歩こう会」(毎月第1金曜日)



平成17年10月から活動を始め、市内や周辺市町の里山歩きを楽しんでいます。女性の参加者も多く、毎回50~60名が参加。1月の八幡山縦走、5~6月の千草街道、11月の綿向山登山は毎年恒例となっています。

■「八幡堀を守る会」(昭和63年から続く歴史ある団体。おやじ連メンバーの参加者多数)



近江八幡の観光名所や時代劇の撮影場所として知られる八幡堀を美しく保つため、清掃・水草除去・花菖蒲植えなどの活動を行っています。平成17年4月以降、毎朝欠かさず歩いてゴミ拾いを続けているメンバーも。

※インターネットで「近江八幡おやじ連」で検索すれば、各団体の活動日をまとめた月間スケジュールや各団体への連絡先を閲覧できます。

八景会の活動拠点「八幡山」



八幡山は、JR近江八幡駅から北へ約2.5km、琵琶湖東岸に位置する独立丘で、両翼を広げたような形状から「鶴翼山」とも呼ばれ、近江八幡のランドマークとして市民に親しまれています。標高は283m。織田信長の安土城落城後、秀吉の甥である豊臣秀次がここに八幡山城を築城しました。安土の城下町を移転した八幡旧市街は、今も往時の面影を残しています。山城を取り囲む八幡堀は湖上物流の拠点として栄え、後の近江商人活躍の礎となりました。山頂付近には城跡や寺院があり、ロープウェイも運行されています。

八景会の活動への参加方法

- ・八景会は、自立した個人のネットワークです。毎回、参加・不参加は自由。会員登録不要。会費もありません。
- ・動機は、山の景観向上に関心がある人はもちろん、仲間づくり、健康増進、社会貢献したい、などさまざまです。
- ・おやじだけでなく、女性や若者の参加も大歓迎です。
- ・作業用具は当会で準備します。作業しやすい服装・履物でご参加ください(軍手・タオル等をご持参ください)。

現役世代も参加しやすくなりました!!

■定例作業日

《竹林またはコナラ林整備》 毎月 **第2水曜日** および **第4土曜日**
9:00~11:30 市立図書館裏手の八幡公園管理棟前に集合

《縦走路整備》 毎月 **第3木曜日**
9:00~15:00 集合場所は都度変わるため、事前にお問合せください

あなたも一緒に汗を流しませんか?

他団体とのコラボレーション

■八幡酒蔵工房

近江八幡市内で循環型まちづくりを志向した活動をしているNPO(任意団体)。八景会が作業で切り出した竹を竹粉肥料・竹紙・竹染め・竹細工・竹リキシャ等に再生利用しています。また湖上の休耕田「いまさか島地」も、おやじ連などの力を借りて再生活用中です。



竹粉製造機PANDA

■全国竹林景観ネットワーク(略称: BaLaNET)

竹林をめぐる様々な課題の解決にむけて、多分野間での研究者同士の交流と、各地域で取り組んでいる市民への研究成果還元を目的に、平成19年に設立。平成20年と22年には、八景会もサポートして、近江八幡を会場に全国研究集会在開催されました。

八景会の主な助成・受賞歴

整備作業に伴う作業用具一式、燃料代、森林ボランティア保険料、植樹木代、看板製作費用等々を、下記の各団体様より助成・ご寄付いただいで活動しております。(年度順、敬称略)

- H18 近江八幡市より補助
- H18 たねや(株)よりご寄付
- H18 コムケアセンターより助成
- H19~H22 滋賀県より助成(みんなで始めよう森づくり)
- H23~H24 公益信託自然保護ボランティアファンドより助成
- H23~H24 全労災より助成
- H25 ソロチニスト日本財団より、ボランティア活動賞受賞
- H25~H27 平和堂財団より助成(環境保全活動助成「夏原 Grant」)

八景会へのお問合せ

〒523-0861 滋賀県近江八幡市仲屋町元24 世話人代表 村西耕爾
TEL: 090-1152-2615 Eメール: koji2615@tiara.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://hachimanyama.ciao.jp> (「近江八幡里山ハイキングガイド」で検索)